

第3章

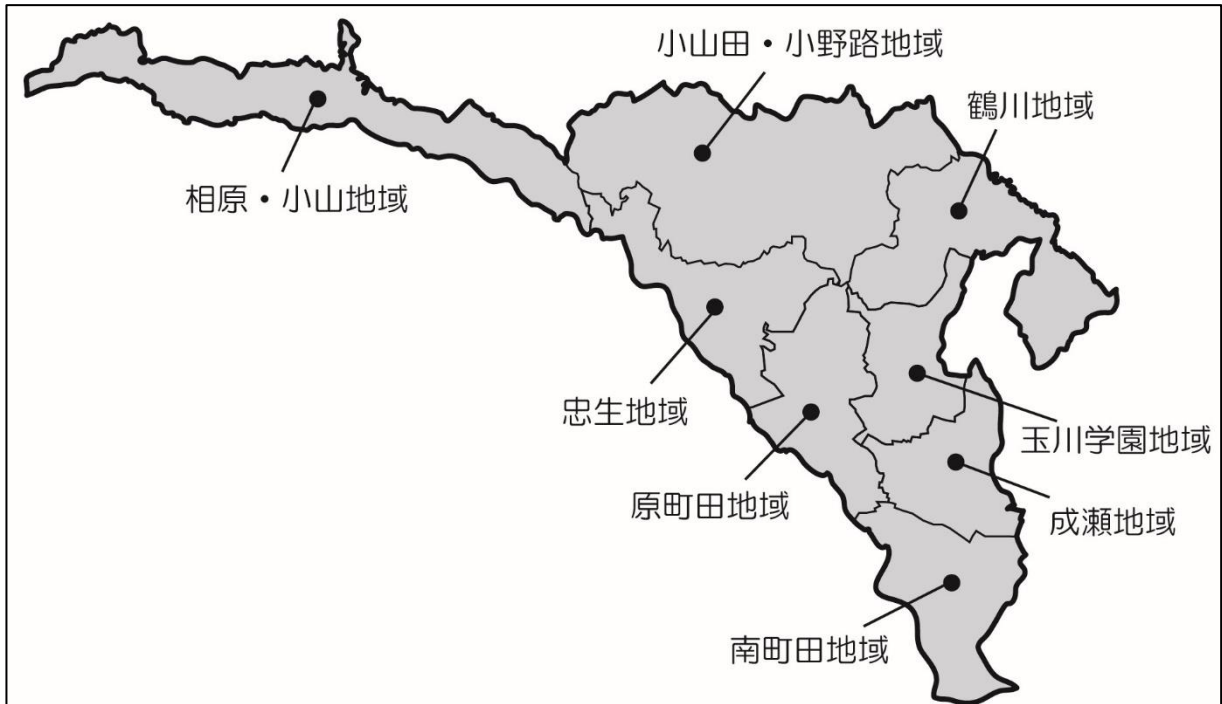
地域別の景観づくりの方針

目次

1	地域分類と構成	58
2	地域別の景観づくりの方針について	59
	相原・小山地域	60
	小山田・小野路地域	69
	鶴川地域.....	75
	忠生地域.....	81
	玉川学園地域	87
	原町田地域	93
	成瀬地域.....	99
	南町田地域.....	105

第3章 地域別の景観づくりの方針

1 地域分類と構成



地域区分	
相原・小山地域	相原町、小山町、小山ヶ丘
小山田・小野路地域	上小山田町、下小山田町、小野路町、囃師町、野津田町、真光寺町、真光寺
鶴川地域	鶴川、三輪町、大蔵町、三輪緑山、能ヶ谷町、広袴町、広袴、金井、薬師台、金井町の一部
忠生地域	忠生、山崎町、木曽町、根岸町、矢部町、常盤町、小山田桜台、木曽西、木曽東、本町田の一部、森野の一部
玉川学園地域	玉川学園、南大谷、東玉川学園、本町田の一部、金井町の一部
原町田地域	中町、原町田、旭町、金森一丁目、本町田の一部、森野の一部
成瀬地域	成瀬、高ヶ坂、南成瀬、成瀬が丘、成瀬台
南町田地域	つくし野、南つくし野、鶴間、小川、金森（金森一丁目を除く）

2 地域別の景観づくりの方針について

それぞれの地域で具体的に景観づくりを進めるにあたり市内を8つの地域に分け、景観づくりのテーマ、景観づくりの作法、地域景観要素図を整理しています。

地域別の景観づくりの方針^{※1}は、市民が地域の景観を理解するための素材になるとともに、市民一人ひとりが、地域の個性を活かしながら景観づくりを進めるための考え方や、具体的な建築行為などの際に手がかりとなる内容を整理しているものです。

■ 地域別の景観づくりの方針

①景観づくりのテーマ

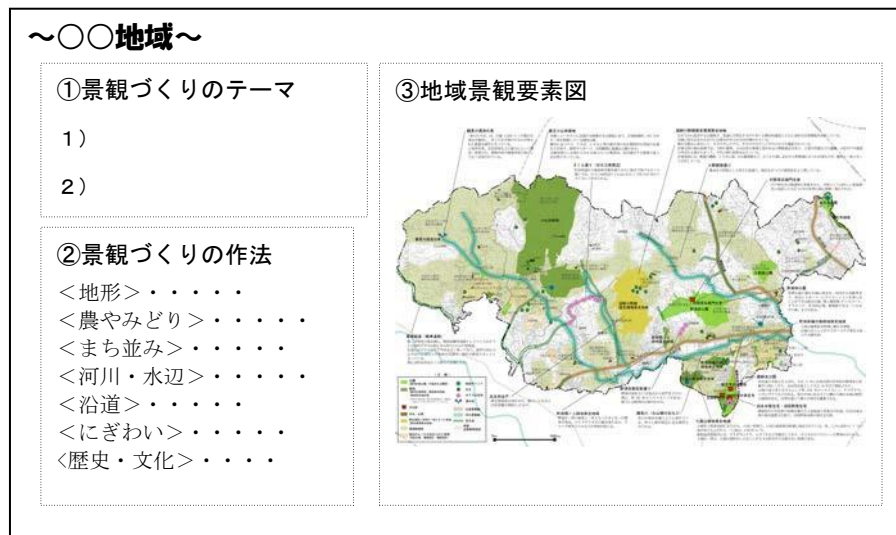
- 地域の景観づくりの大きなテーマを示しています。

②景観づくりの作法

- 具体的に景観づくりに取り組む際に、地域の景観の特徴を理解し、市民一人ひとりが地域の景観の特徴を活かして景観づくりに取り組む考え方を、「地形」「農やみどり」「まち並み」「河川・水辺」「沿道」「にぎわい」「歴史・文化」の7つの項目で整理しています。
- 届出が必要となる一定規模以上の行為だけではなく、戸建て住宅を建てる場合などにも参考となるよう、「配慮のポイント」や「配慮が求められる場所や景観の要素」などを整理しています。

③地域景観要素図

- 地域の個性を活かした景観づくりを進めるために、重要な手がかりとなる基礎的な景観要素（歴史的建造物や文化財、史跡、みどりの拠点となる公園、都市計画法などに基づく地区計画や建築協定、建築協約の区域など）を地図に示しています。



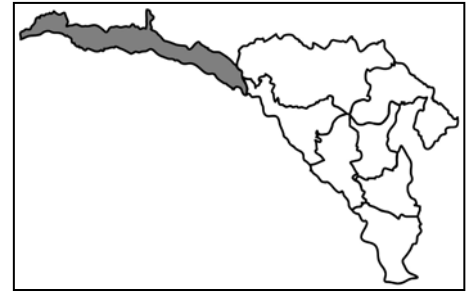
※地図に示した内容は、おおむねの場所や区域を示しているものです。

※1 地域別の景観づくりの方針：地域の景観の特徴や課題、景観資源などは、景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。今後も、見直しの機会にあわせて、充実を図ります。

～相原・小山地域～

◇町目構成◇

相原町、小山町、小山ヶ丘



相原・小山地域は、町田市の北西部に位置し、相模原市、八王子市に接しています。地域は東西に細長く、南を流れる境川付近から北に向かって、低地、台地、丘陵地が連続しています。また境川からは幾筋の谷戸が広がり、町田市の地形の特徴が凝縮された地域です。

西端の大戸緑地や地域北側の丘陵地には、豊かな樹林が残り、全体としてみどり豊かな景観が見られます。一方で、多摩境駅を中心に、多摩境通り周辺は近年開発整備が進み、みどりが少なくなるなど景観の急速な変化が見られます。また、地域を東西に貫く町田街道沿いは、商業施設が建ち並ぶ一方で、旧街道の面影を残す場所も見られます。

①景観づくりのテーマ

1)水とみどりに恵まれた自然環境に調和した景観づくり

樹林や水系などの自然環境や、地域の北側に続く多摩丘陵のみどり、大規模な公園や緑地など、水とみどりに恵まれた自然環境がつくりだす景観を維持・保全します。また、地域内に残る農地や町田街道沿いに残る歴史ある街道の面影などに配慮し、みどり豊かな環境と一体となったまち並み景観づくりを進めます。

2)地域生活の中心となる駅周辺の秩序ある景観づくり

多摩境駅周辺及び多摩境通りの沿道では、周辺のみどり豊かな環境や眺望に配慮しながら、秩序あるにぎわいの景観づくりを進めます。また、車の交通や歩行者に配慮し、うるおいのある沿道の景観づくりを進めます。相原駅周辺では基盤整備とあわせ、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地、台地、低地が南北に凝縮された地形

相原・小山地域では境川付近から北側の丘陵地に向かって高くなる地形のため、隣接する相模原市の市街地、丹沢・大山の山並み、その向こうにそびえる富士山など南西方向に開けた眺望や、町田街道の北側に連なる丘陵地の稜線などの眺望が随所で見られます。



随所で見られる特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／台地と低地の境／高台にある公園・広場／主要な幹線道路／境川などからの眺望

<農やみどり>

◇町田市西部の厚みのある自然

西部にある相原町は、多くが樹林に覆われ、厚みのある自然景観が広がります。特に最西部にあたる大戸緑地には、市内でも標高が最も高い草戸山や境川の源流もあり、豊かな樹木の生い茂る山地の景観が見られます。

町田市西部の豊かな自然環境を維持・保全するとともに、樹林の生い茂る山地への眺望に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

町田市西端の山地（大戸緑地など）

◇東西に連なる丘陵地のみどり

町田街道から北側には丘陵の斜面が続き、大規模な公園（相原中央公園、小山三ツ目山公園、小山白山公園、都立小山内裏公園、小山上沼公園など）を中心に樹林などのみどりが連続しています。公園は憩いの空間となるとともに、斜面のみどりが連なる姿は地域の景観の要素のひとつです。

東西に連なる丘陵の稜線や丘陵地内の公園や緑地のまとまったみどりを維持・保全するとともに、それらと一体となるみどり豊かな景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

相原中央公園／小山三ツ目山公園／小山白山公園／都立小山内裏公園／小山上沼公園など



小山白山公園

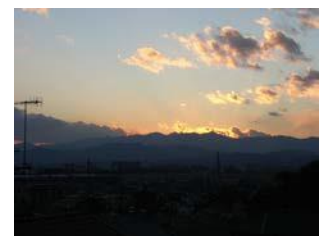
◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの方が眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道



尾根緑道からみた夕景

<まち並み>

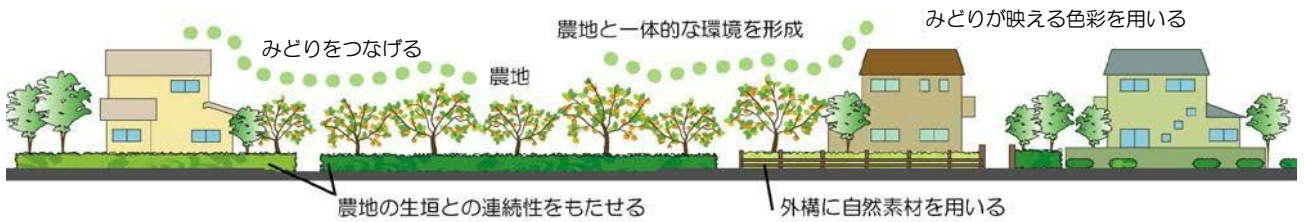
◇周辺のみどりに囲まれた集落・住宅地

小山町付近では、町田街道の北側から小山ヶ丘に向かう斜面地には農地が各所に残り、落ち着きのある住宅地が東西に続きます。また、境川周辺の住宅地の中にも、農地や樹林、生垣などが残り、うるおいとやすらぎのある景観が見られます。

住宅地の近くに農地や樹林が多く残る地域では、みどりの連続性や、みどりの映える色彩、素材などに配慮し、自然資源と馴染む住宅地のまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

小山町付近の農地／境川周辺の住宅地の樹林や生垣



◇**大学などを拠点とする周辺のみどりと一体となった景観**

地域内には、法政大学や東京家政学院大学などがあります。大学のキャンパス内は、豊かなみどりに囲まれ、丘陵地のみどりと一体となり周辺地域の拠点的な景観要素となっています。

大学などの周辺では、大学キャンパスを拠点とする丘陵地のみどりと一体となったみどり豊かな景観を、周囲にも連続させていくような景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

法政大学／東京家政学院大学など

<**河川・水辺**>

◇**境川沿いの開放感のある景観**

相模原市との境界付近を緩やかな弧を描いて境川が流れます。河川沿いには桜並木や、西端の大戸緑地には源流があり、北にのびるいくつかの支流でも、周辺的环境と調和した水辺の景観をつくり出しています。片所谷戸では蛍が見られるなど、生物の生息環境としても質の高い空間が残されています。

境川上流の水辺の空間では、河川とその周辺的环境を保全するとともに、その環境を活かした景観づくりを行います。また、河川沿いやその周囲では、自転車歩行者専用道路などを利用する市民が、憩いの場所として楽しめる景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

境川とその支流／境川沿いの桜並木／片所谷戸など

<**沿道**>

◇**歴史ある街道の面影が残る町田街道沿いの景観**

町田街道沿いには、さまざまな店舗が建ち並んでいます。一方で街道沿いの要所には社寺や昔ながらの生垣や樹木が豊かに育った民家が見られるなど、歴史ある街道の面影が残ります。

町田街道沿いでは、周囲に残る歴史的な資源を守り、育て、それらの資源に配慮するとともに、周辺の住宅地の環境にも十分配慮した景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

町田街道／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影／隣接する住宅地

<**にぎわい**>

◇**開発が進み日々変わり続ける多摩境通り周辺**

多摩境駅を中心に、多摩境通り周辺では、近年開発整備が進み、多くの商業施設や集合住宅などが建てられ、多様な景観が形成され、かつての丘陵地のみどり豊かな景観は大きく変化しています。

変化の著しい多摩境駅周辺や多摩境通りの沿道では、車の交通や歩行者に配慮し、にぎわいやゆとりのある沿道景観をつくるとともに、丘陵地の豊かなみどりが感じられる景観づくりを行います。



多摩境通り

◆配慮すべき景観要素◆

多摩境駅や多摩境通りのにぎわい／丘陵の稜線や豊かなみどり／
尾根緑道からの眺望／公園や緑地などのみどりのつながり

◇基盤整備の進む相原駅周辺

相原駅周辺では、道路などの基盤整備が進められつつあり、地域のまちづくりの活動が行われています。周辺の住宅地には、丁寧に維持管理された生垣や庭木など、これまで培われてきた相原の住宅地の生活風景が残ります。地域の特色を活かし、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい魅力ある駅周辺の景観づくりを行います。

相原駅周辺では、基盤整備とあわせて、地元住民が中心となって取り組むまちづくり活動を踏まえて、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

相原駅及びその周辺

<歴史・文化>

◇町田街道周辺に多い歴史・文化資源

町田街道の北側を中心に神社や寺が多く立地しています。円林寺、清水寺、諏訪神社などの寺社では、大きく育った敷地内の立派な樹木や周辺のみどりと一体となった景観が見られます。清水寺のアカガシ群落は、市指定天然記念物にもなっています。また、青木家住宅、長福寺、田端環状積石遺構、相原窯跡など、多くが文化財や史跡に指定され、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。

地域の歴史・文化を物語る景観資源を保全し、それらの資源と周辺の豊かなみどりが一体となった景観づくりを行います。

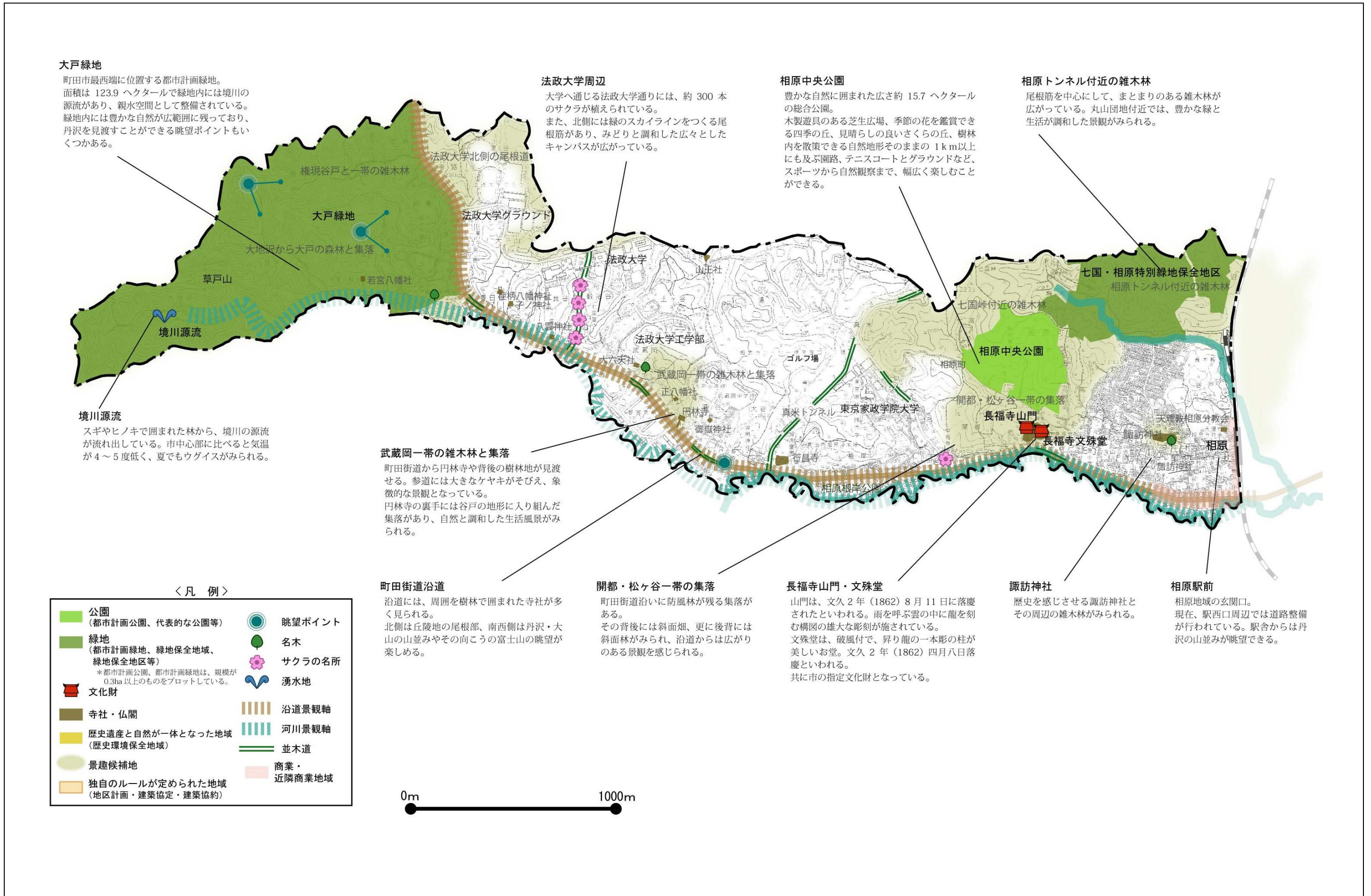


青木家住宅
※一般公開はしていません。敷地内の立ち入りはご遠慮ください。

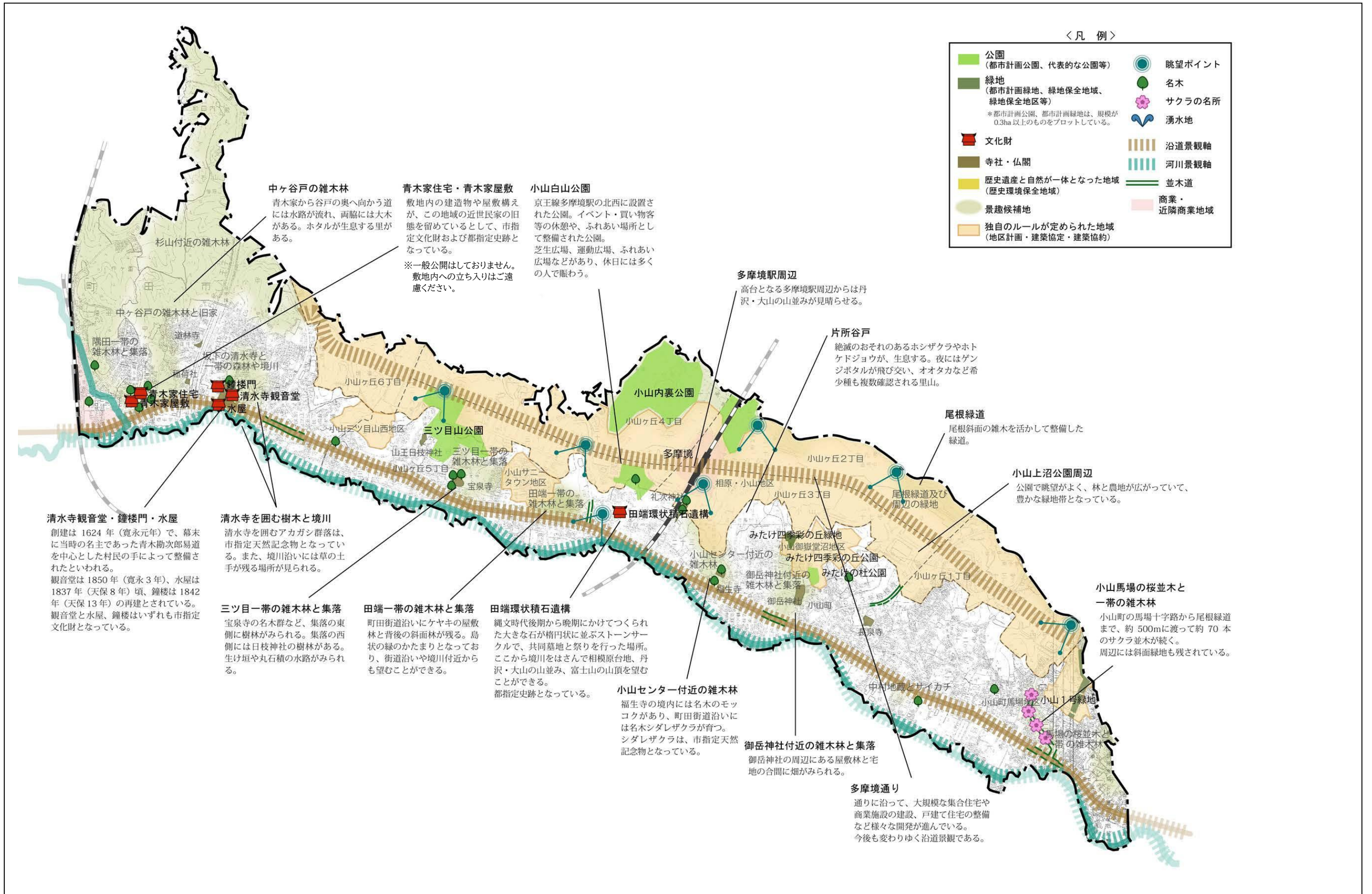
◆配慮すべき景観要素◆

円林寺／清水寺／諏訪神社／青木家住宅／長福寺／田端環状積石遺構／相原窯跡など

■相原・小山地域の景観要素図1（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。）



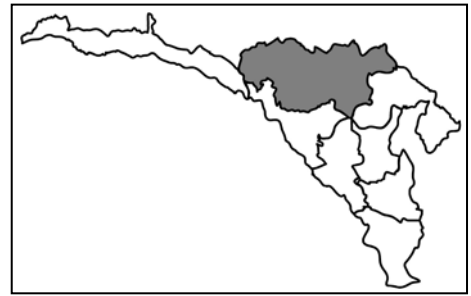
■相原・小山地域の景観要素図2（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。）



～小山田・小野路地域～

◇町目構成◇

上小山田町、下小山田町、小野路町、函師町、野津田町、真光寺町、真光寺



小山田・小野路地域は町田市の北部に位置し、北側を多摩市や八王子市の多摩ニュータウンと接する地域です。地域のほぼ全域が丘陵地にあり、多摩市との境にある標高150m前後の尾根を最高に、起伏に富んだ複雑な地形が見られます。そのため多くの谷戸が点在しており、谷戸山と農地が一体となった谷戸の景観を形成しています。

①景観づくりのテーマ

1)水とみどり豊かな自然環境に配慮した谷戸山景観の維持保全

丘陵地に残された豊かなみどりや谷戸の景観、多様な生物の生息環境となっている鶴見川・真光寺川の水辺環境など貴重な自然環境に配慮し、農地の荒廃や不法投棄などにより、それらの魅力を損なわない景観の維持や回復に努め、自然環境に調和した景観づくりを進めます。

2)地域の歴史・文化資源を活かした魅力あふれる景観づくり

小野路宿通りや大泉寺など地域の歴史や文化を物語る貴重な資源を積極的にまちづくりに活かし、周辺の自然景観と調和した魅力あふれる景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇起伏に富んだ丘陵地が織り成す眺め

小山田・小野路地域の起伏に富んだ地形によってつくられる様々な眺望が見られます。空間の開けた場所では尾根の稜線の随所で見られ、場所によっては大山・丹沢の山並みや、その向こうにそびえる富士山を望むこともできます。また河川や街道沿いからは、丘陵の稜線のみどりが帯のように連なる姿を見ることもできます。

随所で見られる特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／高台にある公園・広場／芝溝街道などからの眺望



野津田付近の丘陵の稜線

<農やみどり>

◇町田を代表する丘陵地のみどり豊かな景観

小山田・小野路地域は市街化調整区域に指定されている地域が多く、それらを中心に丘陵地の樹林や、農地など、みどり豊かな景観が広域に広がります。豊かな樹林や谷戸に形成された田畑などでは、みどり豊かな田園風景が見られますが、近年、農地の放棄・荒廃、



谷戸の景観

資材置き場、残土・廃棄物の投棄などによって、良好な景観が脅かされる場所も見られます。

町田市の景観の財産である丘陵地の樹林や農地、及び谷戸を形成している豊かなみどりを保全し、それらと一体となる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

農地／樹林／谷戸の田畑など

◇地域のシンボルとなるまとまりのあるみどり

地域内には、多くの公園や緑地があり、まとまったみどりが確保されています。

まとまったみどりを、町田市の景観のシンボルとして維持・保全し、それらのみどりの拠点とし、周辺にもみどりを広げます。

◆配慮すべき景観要素◆

小山田緑地／野津田公園／函師小野路歴史環境保全地域／七国山周辺／薬師池公園／真光寺公園／真光寺緑地など



小山田緑地

◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの人が眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道

<まち並み>

◇谷戸や街道沿いの集落のまち並み

小山田・小野路地域では、農地や樹林の田園風景の間にいくつかの住宅がまとまって建つ景観が多く見られます。中でも古くから生活が営まれてきた谷戸では、周辺のみどりと一体となった集落の景観が見られます。また古くからある街道沿いには、歴史を感じさせる旧家の佇まいが残る場所が随所に見られます。

谷戸の集落では、周辺を包むみどりの尾根を保全し、良好な自然環境に配慮した景観づくりを行います。また、芝溝街道など古くからある街道沿いでは、街道沿いの寺社や旧家などの景観資源を活かし、それらに配慮したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

谷戸の集落／街道沿いの寺社や旧家

◇小野路宿通りのまち並み

幕末まで宿場町として栄えた小野路宿通りでは、歴史ある建築物や板塀のまち並みが良好に維持されており、宿場としてにぎわった往時の街道の雰囲気をしるべき貴重な景観が受け継がれています。また、背景には丘陵の豊かなみどりが広がります。

小野路宿通りでは、道路整備にあわせて、歴史あるまち並みの環境を保全・再生し、特徴を活かした景観づくりを行います。

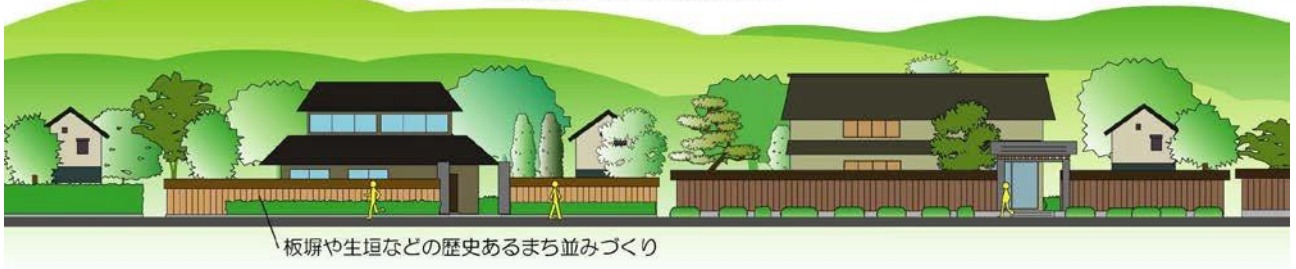


小野路宿通り

◆配慮すべき景観要素◆

小野路宿通りとその周辺／板塀、せせらぎ水路、歴史のある建築物／豊かなみどり

丘陵のみどりと一体となる景観づくり



◇丘陵地に広がる一体的に整備された住宅地

真光寺や上小山田町など一部の地域では、起伏のある斜面に一回の住宅地がつくられており、ゆとりのある敷地の戸建て住宅のまち並みを見ることができます。しかし、丘陵地を切り開き、谷戸を造成しながら開発が行われた地域では、尾根の稜線のみどりが分断されるなど、みどりの減少や景観が急激に変化している地域もあります。



真光寺の住宅地

丘陵地の斜面に整備された住宅地では、元の地形を活かすとともに、周辺環境に配慮した良好な住宅地のまち並み景観をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

斜面地の住宅地

(真光寺／上小山田町／野津田町など)



<河川・水辺>

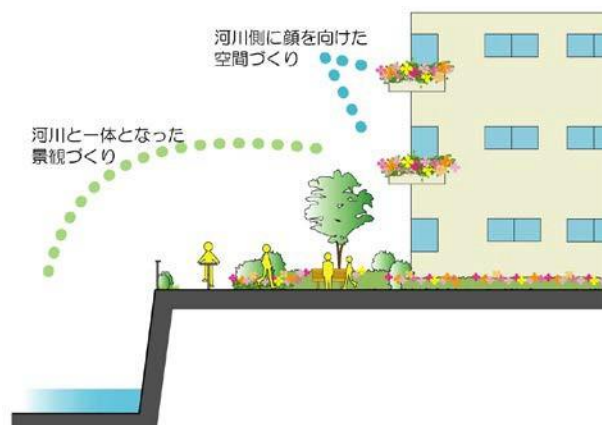
◇丘陵地の鶴見川、真光寺川沿いの景観

鶴見川や真光寺川及びその支流は、丘陵地の複雑な地形を縫うように流れています。上流に向かって川幅も狭くなり、川の流れの近くにまで丘陵の斜面のみどりが間近に迫ることも多くなり、河川周辺との景観的な一体感も強くなります。

鶴見川や真光寺川及びその支流では、河川空間と周辺の環境が一体となったうるおいのある景観をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川・真光寺川沿い



◇鶴見川源流の泉

小山田・小野路地域は、川崎市、横浜市を抜けて東京湾へと注ぐ鶴見川の源流地域です。上小山田町には鶴見川源流の泉があり、その周辺には、水辺環境と農のみどりが調和した良好な環境をつくっています。

河川、湧水の周辺では、生物の生息環境にも配慮し、その良好な自然環境と調和した親しみのある景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川源流の泉／鶴見川／真光寺川／湧水池



鶴見川源流の泉

<沿道>

◇鎌倉街道、芝溝街道、鶴川街道の景観

小山田・小野路地域には、鎌倉街道や鶴川街道、芝溝街道など古くから存在する道が多くあります。沿道には店舗などの建ち並ぶ地域がある一方で、神社や寺院が多く、歴史の深さを物語る地域もあります。また、新規整備や拡幅などが進められている道路では、沿道の景観が大きく変化している地域も見られます。

鎌倉街道、芝溝街道、鶴川街道の沿道では、周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鎌倉街道／芝溝街道／鶴川街道／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影／隣接する周辺の住宅地

<歴史・文化>

◇七国山周辺などの自然と歴史が感じられる景観

小山田・小野路地域には、薬師堂、福王寺、旧荻野家住宅、旧永井家住宅がある薬師池公園や、小野路城址、一里塚、野津田神社、大泉寺、万松寺など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。特に薬師池公園や野津田神社、鎌倉井戸などがある七国山周辺は、歴史的な面影を残す景観が数多く見られます。また地域内には多くの古道があり、歴史的な趣と豊かな自然が融合した景観が形成されています。

地域の歴史を物語る主要な寺社や文化財の周辺では、それらの資源に配慮し、周辺のみどりの環境と一体となった景観づくりを行います。

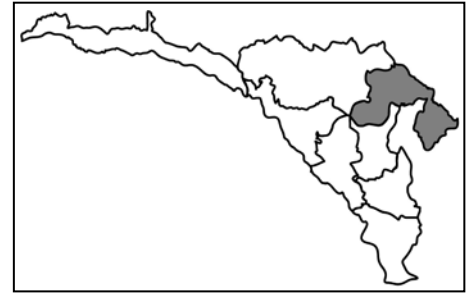
◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／大泉寺／万松寺／野津田神社など

～鶴川地域～

◇町目構成◇

鶴川、三輪町、大蔵町、三輪緑山、能ヶ谷町、
広袴町、広袴、金井、薬師台、金井町の一部



鶴川地域は、町田市の北東部に位置し、川崎市や横浜市に隣接する地域です。河川や街道沿い、小田急線沿いの低地部分から幾筋もの丘陵の尾根が連なるなど、高低差に富み、起伏が豊かな丘陵地の地形が見られます。

みどり豊かな丘陵の尾根に囲まれた住宅地や、里山や谷戸の田園風景がみられる一方で、鶴川団地など面的な整備が行われてきました。近年でも大規模な宅地開発が行われるなど、急激に変化している景観も見られます。

①景観づくりのテーマ

1) 尾根のみどりに包まれた住宅地の景観づくり

丘陵の尾根のみどりに包まれた住宅地の姿が鶴川地域のまち並みの特徴です。また、真光寺川や鶴見川などの河川や数多く見られる歴史・文化の面影も鶴川地域を特徴づける要素となっています。それらの特徴を活かした魅力的な景観づくりを進めます。

2) 鶴川駅周辺の秩序ある景観づくり

鶴川駅周辺では、周りに広がるみどりや商店街、住宅地の環境に十分配慮しながら、地域の日常生活の中心として、また人々が集まり交流する場として、にぎわいのある中にも秩序のある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地のみどりと起伏がつくる変化に富んだ眺め

鶴川地域には、多くのみどり豊かな谷戸の景観が見られます。例えば、三輪町の妙福寺周辺を含む一帯には、みどりが深く典型的な谷戸の景観が見られます。

幾筋もの尾根と谷によって複雑に入り組んだ地形は、さまざまな場所からさまざまな方向に眺望を体験することができます。地形の低い場所を流れる鶴見川や真光寺川からは、間近に迫るみどりの斜面の尾根の稜線が見られます。また鶴見川を上流方向に眺めると、遠くの山並みが正面に見渡すことができ、住吉橋付近からは、春日神社の鎮守の森が正面に見えるなど、特徴的な眺望が体験できます。金井四丁目などの視界の開けた小高い場所では、眼下に広がる住宅地の家並みを眺めることができ、みどりの塊が小山のように残る姿など、地域の地形の特徴やまちの様子がよく理解できます。

幾筋もの尾根や谷が複雑に入り組んだ地形によって、随所から見られる眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

見通しのきく場所／鶴見川などの河川沿い／
高台の公園・広場などからの眺望



高台から望む住宅地の家並み

<農やみどり>

◇町田を代表する丘陵地のみどり豊かな景観

三輪町では多くが市街化調整区域に指定されており、それらの地域を中心に豊かな樹林や谷戸で形成された田畑などではみどり豊かな田園風景が見られますが、近年、農地の放棄・荒廃、資材置き場、残土・廃棄物の投棄などによって、良好な景観が脅かされている場所も見られます。

市街化調整区域内における丘陵地の樹林や農地、谷戸が形成されているみどり豊かな景観を保全するとともに、それらに配慮し、一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

三輪町の市街化調整区域内の緑地

◇地域のシンボルとなるまとまりのあるみどり

鶴川中央公園や三輪中央公園などは、地域のシンボルとなる公園として市民に親しまれています。町田代官屋敷緑地保全地域、真光寺緑地、薬師台緑地など、住宅地の近くにまとまりのあるみどりが保全されています。これらのみどりは離れた場所からも遠景、中景景観として楽しむことができ、落ち着きやうるおいをもたらしています。広袴公園など周辺の環境に調和した水とみどり豊かな公園も見られます。

緑地や公園のまとまったみどりのある景観を維持・保全するとともに、周辺では、積極的に緑化を行うなど、緑地や公園と一体となったみどりの景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川中央公園／三輪中央公園など

<まち並み>

◇尾根のみどりに囲まれた住宅地

多くの住宅地の周りには尾根のみどりが見られます。丘陵のみどりの尾根は住宅地の背景となり、鶴川地域の特徴となっています。しかし一方では丘陵地を切り開き、谷戸を造成しながら開発が行われたため、尾根の稜線のみどりの分断もみられます。

尾根のみどりに囲まれた、鶴川地域の住宅地の特徴に配慮した景観づくりを行います。



尾根のみどりに囲まれた住宅地

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川地域の住宅地／背景の丘陵のみどりの稜線

尾根の緑の稜線の保全



緑豊かな住宅地の形成

◇丘陵地に一体的に整備された住宅地

斜面地や尾根のみどりを切り開き大規模に開発が行われた地域では、戸建て住宅のまち並みが広がっています。三輪緑山や薬師台、金井などでは、閑静な低層住宅地が広がります。地区計画などまちづくりルールが定められている地域もあり、良好なまち並みが維持されています。



三輪緑山

丘陵地に一体的に整備された住宅地では、地域独自のルールを守り、地域の特色を尊重し、周囲のまち並みと調和した落ち着いたある良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

三輪緑山／薬師台／金井などの住宅地

◇農地や樹林が残り田園風景がみられる住宅地

鶴見川や真光寺川の周辺には、住宅地の中に農地が点在しています。しかし河川沿いの住宅の一部では、周囲の水とみどりの豊かな環境に馴染まない色彩や形態の建築物も見られます。

鶴見川・真光寺川の周辺に農地や樹林の残る地域では、みどりの連続性に配慮し、積極的な緑化やみどりが映えるような色彩を用いるなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川・真光寺川周辺

◇大規模な集合住宅団地

鶴川団地のような大規模な集合住宅団地では、敷地内の豊かなみどりと一体となり、中高層の建築物が整然と建ち並び特徴的な景観が見られます。

鶴川団地のような大規模な集合住宅団地では、建て替えや修繕などに際しても、大きく育った樹木の保全など、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川団地内のみどりや整然とした建物配置

<河川・水辺>

◇丘陵地を流れる鶴見川・真光寺川

鶴見川は、丘陵地の尾根の谷間を、曲線を描きながら西から東へ流れ、真光寺川などの支流と合流しながらひとつとなって流れていきます。鶴見川では河川改修が進められ、新しい流れがつけられている地域がありますが、一部ではこれまでの流れの形を残した整備が行われており、多様な生物の生息空間として維持されるとともに、かつての面影を残す水辺景観となっています。

鶴見川や真光寺川、その支流、湧水地などでは、生物の生息環境にも配慮し、河川や水辺環境を活かした景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川／真光寺川／湧水地



鶴見川

<沿道>

◇沿道開発の中にも歴史・文化の雰囲気を残す街道

鶴川街道や芝溝街道など主要な道路の沿道には、商業施設などの店舗が立地し多様な景観が見られます。またその一方で、随所に昔ながらの生垣や樹木が豊かに育った民家もみられるなど、地域の歴史・文化を感じさせるたたずまいを残す場所も見られます。また沿道の施設や交差点などでは、過度な色彩や表現の屋外広告物などにより、周辺と調和を欠いた場所が見られます。

主要な道路の沿道では、周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鶴川街道・芝溝街道沿い／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影

<にぎわい>

◇開発が進む鶴川駅周辺

鶴川駅周辺では、駅北側を中心に近年開発整備が進んでいます。新しい施設が多く建設され、駅前の景観は変化しています。近くには香山^{かごやま}の山林などがあり、自然景観と新たな開発が混在した景観となっています。中には、過度な色彩や表現などの屋外広告物によって、駅前景観の調和を欠くものも見られます。開発整備が進む駅北側と南側では、まちの性格が異なり、景観の連続性も途切れています。

鶴川駅周辺は、地域の顔としての景観づくりを大切にします。また周辺のみどり豊かな環境や住宅などに配慮しながら、一体感のある景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川駅周辺

<歴史・文化>

◇地域の歴史・文化資源が数多く残された景観

三輪町を中心に、古墳や寺社などの多くの歴史的資産があります。特に三輪町や能ヶ谷町の丘陵地には、みどり豊かな自然環境と一体となった西谷戸横穴墓群など、ほかの地域と比べても多くの歴史的資産が残ります。

また、文化財に指定されているものもあります（妙福寺祖師堂・本堂鐘桜門・高麗門、熊野神社本殿、白洲次郎・正子旧宅）。中でも白洲次郎、正子氏が暮らした「武相荘」には、この地域の古き良き農家のたたずまいが残され、多くの観光客が訪れるスポットとして広く知られています。



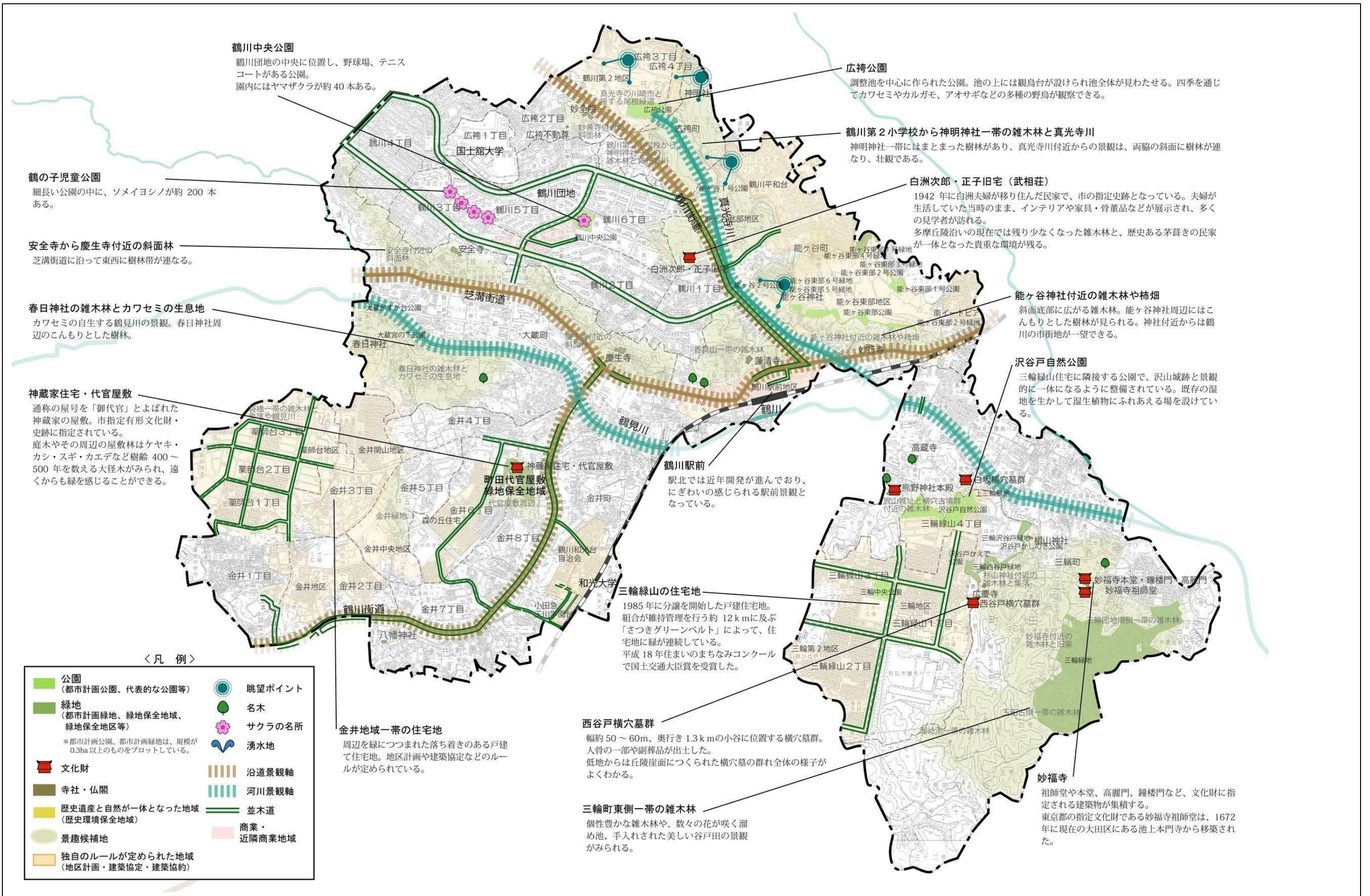
西谷戸横穴墓群

こうした鶴川の歴史や文化に深く関わる主要な寺社や文化財の周辺では、周辺のみどりの環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

西谷戸横穴墓群／白坂横穴墓群／下三輪玉田谷戸横穴墓／妙福寺／熊野神社など

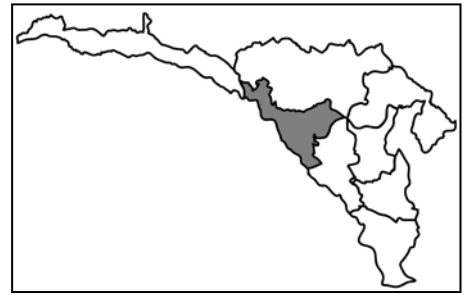
■ 鶴川地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。）



～忠生地域～

◇町目構成◇

忠生、山崎町、木曾町、根岸町、矢部町、常盤町、小山田桜台、木曾西、木曾東、本町田の一部、森野の一部



忠生地域は、町田市西側に位置し、境川に沿って相模原市に隣接する地域です。境川から北東方向に向かって、台地、丘陵地と連続して高くなる地形となっています。

地域内には、町田木曾住宅や山崎団地、小山田桜台団地など大規模な中高層住宅団地があり、区画整理が行われた住宅地が広がるなど、面的に整備されたまち並みが形成されています。しかしその一方で、地域北側の起伏のある丘陵の斜面にはまだみどりが多く残されており、境川や鶴見川の支流の水辺の空間など、それぞれに特徴のある景観が見られます。

①景観づくりのテーマ

1)それぞれの住宅地の特徴を活かしたみどり豊かなまち並みづくり

基盤の整った住宅地や大規模な団地など、それぞれのまち並みの持つ特徴を活かし、地域内に残された樹林や農地などのみどり豊かな環境と調和した住宅地のまち並みづくりを進めます。

2)尾根緑道や河川などの水とみどり豊かな環境を重視したうるおいのある景観づくり

市民に親しまれている尾根緑道や境川沿いの良好な農地や樹林を保全するとともに、住宅地などの緑化などを行うことにより、水とみどり豊かなうるおいのある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地、台地、低地が南北に連続した地形

忠生地域は、相模原市との境界付近を流れる境川から北東方向に向かって、台地、丘陵地と連続して高くなる地形をしています。そのため、小山田・小野路方向に丘陵地の尾根のみどりが見渡せ、南西には相模原の市街地の向こうに丹沢・大山の山並みを望むことができます。

南西方向に広がる丹沢・大山の山並みや小山田・小野路方向に連なる丘陵の眺望など、忠生地域の特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／台地と低地の境／高台にある公園・広場などからの眺望

<農やみどり>

◇農地や斜面林のまとまりのあるみどりの景観

七国山から忠生公園付近を中心に地域北側には、農地や斜面林が多く残り、うるおいのある空間をつくっています。忠生公園周辺は、起伏のある地形によってつくられた谷戸があり、背景の尾根のみどりと農地と集落が一体となった風景が見られます。

七国山周辺や忠生公園など、まとまりのあるみどりの景観を維持・保全するとともに、周辺では、積極的に緑化を行うなど、斜面林や公園のみどりと一体となったみどりの景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／尾根緑道／忠生公園など

◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの人が眺望を楽しめる景観づくりを行います。



尾根緑道

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道

<まち並み>

◇基盤の整ったみどりの多いまち並み

区画整理事業が行われ、基盤整備されたまち並みが広がります。宅地化の進んでいない地域では、農地が残り、まとまった樹林が残されている場所もあり、みどり豊かなまち並み景観が見られます。

区画整理が行われ基盤の整った住宅地では、整ったまち並みを活かし、まち並みの連続性に配慮した景観づくりを行います。宅地化が進んでいない地域では、みどりの連続性に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

忠生地域の住宅地

◇成熟した大規模な中高層住宅団地

小山田桜台団地、山崎団地、町田木曾住宅など大規模な中高層住宅団地では、低層や中高層の集合住宅が整然と建ち並ぶ特徴的な景観が見られます。団地内には公園や緑地も多く、年月を経て樹木も大きく成長しており、身近なみどりに囲まれた景観が見られます。

大規模な団地では、大きく育った樹木などをできる限り残り、年月を経て培われた環境を継承します。



小山田桜台団地

◆配慮すべき景観要素◆

小山田桜台団地／山崎団地／町田木曾住宅／境川団地

<河川・水辺>

◇緩やかな曲線を描きながら流れる境川

境川は、相模原市との境界付近を緩やかな曲線を描きながら流れています。川の流れに沿って開放感のある空間が広がり、河川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れる楽しみながらウォーキングやジョギングを楽しむ市民の憩いの空間となっています。

河川や湧水の周辺では、開放感のある空間を活かし、市民の憩いの空間となる魅力ある景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川沿い／湧水池

<沿道>

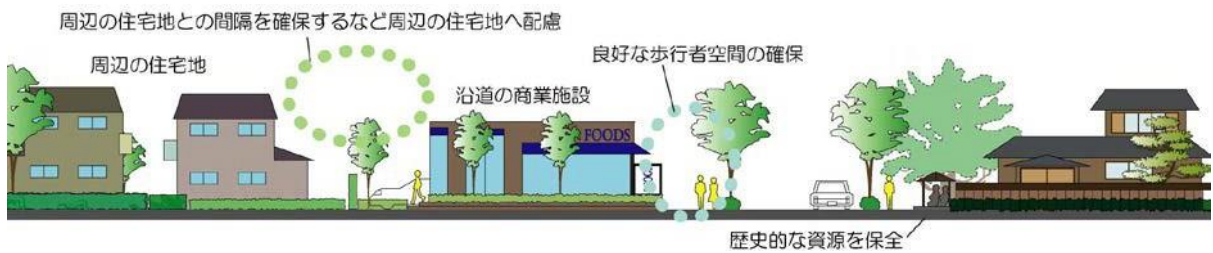
◇商業施設が建ち並ぶ中に歴史の面影を残す町田街道・芝溝街道

町田街道や芝溝街道、町田駅前通りなどの主要な通りの沿道には、住宅や飲食店、物販店など様々な業種の建築物が立地し、多様な景観が見られます。特に主要な通りの沿道では、様々な色彩の商業施設や屋外広告物が雑然と並ぶ様子が見られます。北へ向かうと、徐々に沿道に樹木が生い茂る景観が多く見られるようになり、また古い街道沿いには、旧家のたたずまいや地蔵など、地域の歴史・文化の深さを感じさせるたたずまいを残す場所も見られます。

町田街道や芝溝街道、町田駅前通りなどの主要な通りでは、通りからの見え方や周辺の住宅地の環境や歩行者空間に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家などの歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

町田街道／芝溝街道／隣接する周辺の住宅地など



<歴史・文化>

◇地域の歴史・文化を物語る歴史的な景観資源

箭幹八幡宮、小山田1号遺跡、木曾一里塚、鎌倉井戸など、忠生地域には歴史・文化を物語る景観資源が見られます。特に、鎌倉井戸などがある七国山周辺は、歴史的な面影を残す景観が数多く見られます。また寺社仏閣などの周辺では、周辺のみどりと一体となった景観が見られます。

箭幹八幡宮などの主要な寺社や文化財の周辺では、周辺のみどりの環境と一体となった景観づくりを行います。

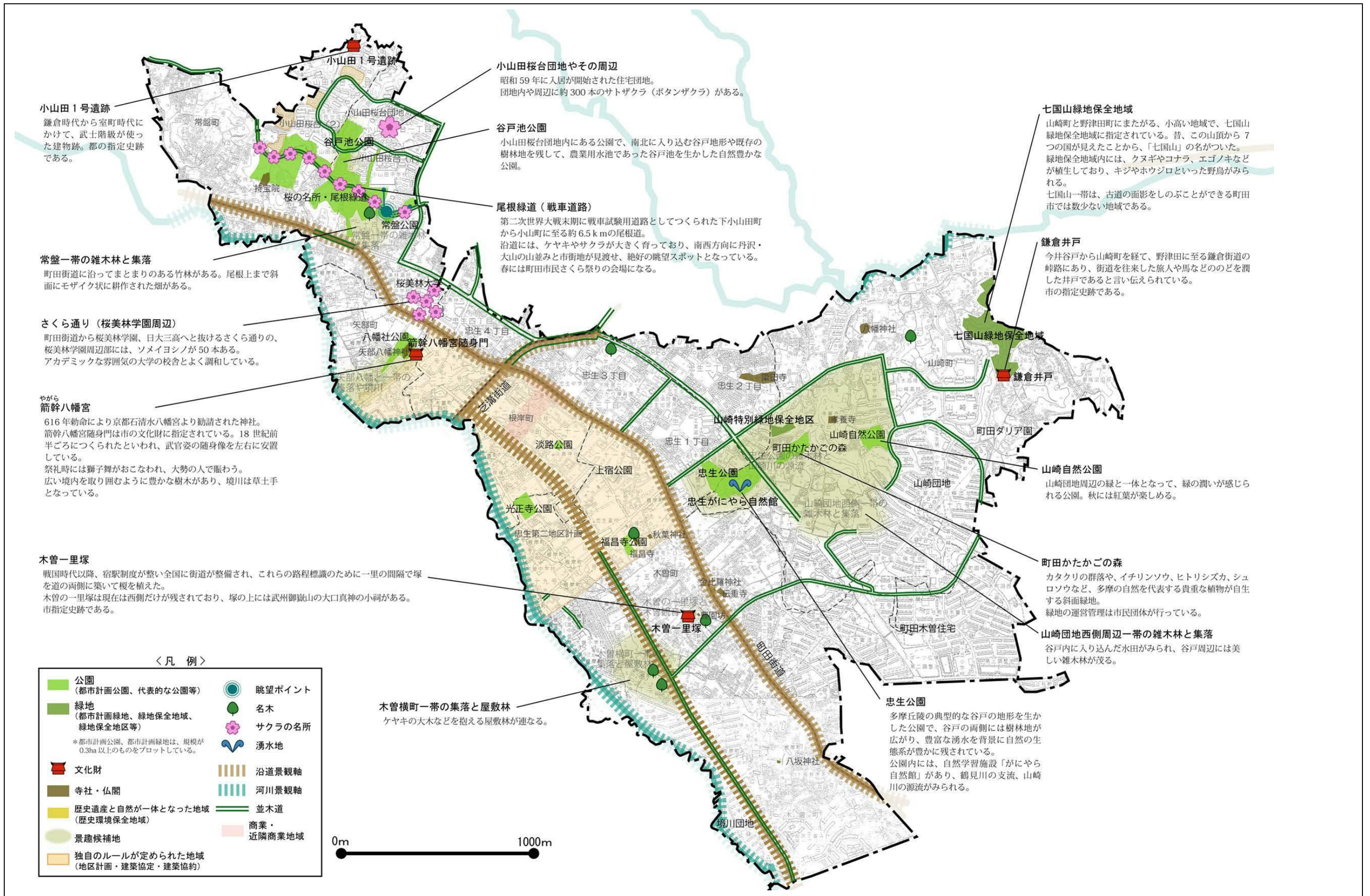


鎌倉井戸

◆配慮すべき景観要素◆

箭幹八幡宮、小山田1号遺跡、木曾一里塚、鎌倉井戸など

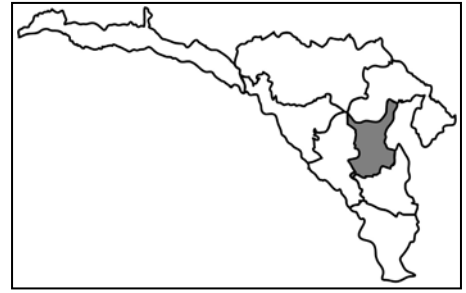
■ 忠生地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。）



～玉川学園地域～

◇町目構成◇

玉川学園、南大谷、東玉川学園、本町田の一部
金井町の一部



玉川学園地域は、町田市の中ほどに位置し、かつての本町田地域を含み、玉川学園前駅を中心とする地域です。地形的にはほとんどが丘陵地の中にあり、起伏豊かな地形の中に住宅地が見られます。恩田川の周辺や南側は低地となっています。

昭和初期に小田急線の開通と共に開発された玉川学園前駅周辺は、風格のある“文教のまち”が形成されています。また、恩田川沿いの南大谷付近には、農地や斜面林などが残り、うるおいとゆとりを感じさせる風景が見られます。

①景観づくりのテーマ

1) まちの成り立ちを尊重した風格のあるまち並みづくり

昭和初期の小田急線の開通後、文教のまちとして形成されてきたまちの成り立ちを尊重し、地域の歴史や文化を感じさせるまち並みや街路樹などを継承し、さらに魅力を高めていきます。また恩田川沿いや南大谷付近では、水辺と周辺の豊かなみどりを活かしたうるおいとゆとりのあるまち並みづくりを進めます。

2) 地域生活の中心となる学園都市にふさわしい駅前の景観づくり

通勤、通学や買い物など、地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺は、周辺の住宅地に配慮しながら、文教のまちにふさわしい風格のある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇高低差のある地形がつくる特徴的な眺め

玉川学園地域では、高低差のある地形がつくる様々な特徴的な景観が見られます。住宅の多くが丘陵地の斜面に建ち並んでおり、その周辺の尾根の道筋や階段、坂道など、見通しのきく場所の多くでは、斜面に折り重なるように建ち並ぶ住宅地の景観や、丘陵のみどりの尾根の連なり、また、遠くに丹沢・大山の山々を望むことができます。

斜面に建つ住宅や、尾根の稜線がつくるみどりの連なり、丹沢・大山への眺望など、玉川学園地域ならではの眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道、階段／尾根沿いの道 などからの眺望

<農やみどり>

◇地域のシンボルとなるまとまりのあるみどり

玉川学園地域には、3つの大学（玉川大学、昭和薬科大学、和光大学）のキャンパスがあります。キャンパスには大きな樹木が茂り、その姿は周辺からも見ることができます。また大学の周辺にも樹林があり、キャンパス内のみどりとあわせてみどり豊かな地域の象徴的な場所と

なっているととも、かしの木山自然公園、ゆうき山公園など、各所にまとまりのあるみどりが保全されています。

まとまりのあるみどりは、地域のシンボルとして維持・保全します。また、まとまりのあるみどりと一体となったみどりの景観拠点をつくりま



玉川大学

◆配慮すべき景観要素◆

各大学周辺／かしの木山自然公園／ゆうき山公園など

<まち並み>

◇風格のある文教のまち

昭和初期に小田急線の開通にあわせて開発された住宅地が、玉川学園前駅を中心に広がっています。約80年の年月をかけて培われてきたまち並みには、ゆとりのある敷地の戸建て住宅が多く、敷地内にはみどりが豊かに育ち風格のあるまち並みをつくり上げています。一帯は文教地区にも指定される「文教のまち」です。しかし近年では、住宅地内の建築物が更新されつつあり、まち並みの変化やみどりの減少なども見られます。また、施設の跡地や斜面緑地に大規模なマンション建設も行われています。



玉川学園前駅周辺の住宅地

玉川学園前駅周辺では、ゆとりのある敷地と、敷地内の樹木、街路樹の保全、元の地形を活かした土地利用など、風格のある学園のまち並みを継承し、地域の魅力を高めていきます。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

玉川学園一帯の住宅地

尾根のみどりの稜線の保全



生垣などにより落ち着きのあるまち並みを形成

◇農地や樹林が残り田園風景が見られるまち並み

南大谷付近など駅から少し離れた住宅地には、農地や樹林が残り、うるおいとゆとりを感じさせるまち並みが見られます。

南大谷などの住宅地の近くに農地や樹林が残る地域では、農地などのみどりと連続性に配慮し、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。



南大谷

◆配慮すべき景観要素◆

南大谷付近の農地や樹林

◇大規模な中高層住宅団地

地域の北西にある藤の台団地は、中層の建築物が整然と並び、特徴的な団地の景観をつくっています。

藤の台団地のような大規模な団地では、大きく育った樹木をできる限り残し、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

藤の台団地一帯の樹木など

◇成熟した閑静な住宅地

金井町、東玉川学園一丁目などでは、一体的に開発整備された低層の住宅地が広がります。建築協約など、独自のまちづくりルールが定められている地域があり、良好なまち並み景観が維持されています。一部の住宅地では、傾斜地における宅地の造成などに伴って道路に面して高い擁壁がつけられることもあり、住宅地のまち並みづくりに対して景観づくり上配慮が必要な場合も見られます。

金井町など、面的に整備された住宅地では、地域のルールを守り、地域の特性を活かし、周囲と調和した落ち着いたある良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

金井町、東玉川学園一丁目の住宅地など

<河川・水辺>

◇みどりの多い恩田川沿いの景観

恩田川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れを楽しみながらジョギングやウォーキングを楽しむ人たちも多く見られます。河川の近くに丘陵の斜面林が迫り、河川沿いから周辺のみどりを望むことができます。

恩田川沿いでは、並木や周囲の樹林地の眺望、開放的な空間を活かし、川沿いの眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

恩田川沿いや周辺

<沿道>

◇鶴川街道沿いの景観

地域の西側には、丘陵地を南北に貫くように鶴川街道が通っています。沿道には住宅に混じって店舗などが立地しています。

鶴川街道では、沿道の商業施設は周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鶴川街道沿い

<にぎわい>

◇地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺

玉川学園地域の日常生活の中心である玉川学園前駅周辺には、建築物の大きさや色彩が様々な商業施設などが立地し、駐車場なども点在しています。駅周辺には桜並木や大きな樹木も多く、季節感を演出しています。

玉川学園前駅周辺では、小田急線の線路に沿った通りのにぎわいは保ちながらも、隣接する住宅地のまち並みに配慮し、風格のある文教のまちの中心にふさわしい景観づくりを行います。



玉川学園前駅周辺

◆配慮すべき景観要素◆

玉川学園前駅周辺／駅周辺の樹木



<歴史・文化>

◇寺社仏閣とみどりが一体となった景観

南大谷にある南大谷天神社など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。また、寺社の周辺には多くのみどりがあり、建築物と周辺のみどりが一体となった景観が見られます。

南大谷天神社など、地域の歴史・文化を物語る景観資源を保全し、それらの資源と周辺のみどり豊かな環境と一体となった景観づくりを行います。

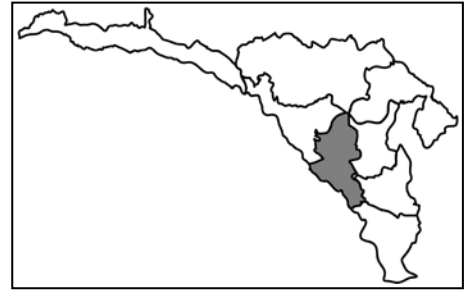
◆配慮すべき景観要素◆

南大谷天神社

～原町田地域～

◇町目構成◇

中町、原町田、旭町、金森一丁目、本町田の一部、森野の一部



原町田地域は、町田市のおお中央部に位置し、西側で境川に面して相模原市と隣接する地域です。原町田地域は、境川と恩田川の間に比較的平坦な土地（相模原台地）が多く、恩田川周辺から北側にかけては丘陵地となり、起伏の豊かな地形となります。

町田駅周辺の中心市街地は、「商都まちだ」として、市内だけではなく周辺都市の商業の拠点として栄え、にぎわいのある景観が見られます。

①景観づくりのテーマ

1) 活気とふれあいのある中心市街地の景観づくり

町田駅周辺の中心市街地については、現在の「にぎわい」「回遊性」などの要素を活かし、一定の秩序を保ちながら、町田の中心としてだれもが安全に快適に過ごすことのできる、ゆとりとうるおいのある中心市街地の景観づくりを進めます。

2) 街道の歴史的な資源などを活かした快適で魅力的なまち並み景観づくり

町田街道や鶴川街道、鎌倉街道など歴史のある街道や、交通ネットワークの要となる主要な道路が多く集まる特徴を活かし、生活基盤施設の改善や街道沿いに残る歴史的な資源などを活かしながら、快適で魅力的なまち並み景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇台地に広がる市街地

台地と低地の境にある坂道や階段などの空間が開けた場所からは、遠くのみどりや斜面に建ち並ぶ住宅の景観を望むことができます。町田市民病院周辺の坂道の眺めや、高台にある養運寺の境内からみる眺望など、遠くまで見通しのきく景観を楽しめる場所が多く見られます。恩田川沿いでは、川の東側から尾根のみどりや斜面に建ち並ぶ住宅景観を望むことができます。また、市街地では、建築物内から、台地に広がる市街地の景観を一望することができます。

原町田地域ならではの眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

台地と低地の境／見通しのきく坂道・階段／高台の広場・公園／恩田川沿いなど

<農やみどり>

◇芹ヶ谷公園や地域の北側に多いまとまりのあるみどり

地域の北側にはえびね苑などがあり、七国山周辺のまとまりのあるみどりが見られます。ひなた村の周辺には、せせらぎ水



見晴らし公園から見るダリア園周辺

路のあるなかよし散歩道やピオトープが整備され、憩いの空間になっています。起伏のある地形の地域では、斜面の樹林が、住宅地の中にみどりの島のように残る様子も見られ、みどりと住宅の織りなす景観が広がります。

また芹ヶ谷公園は、豊かな樹木に囲まれ、駅の近くにありながら豊かな自然の風景と出会えます。国際版画美術館と公園内のみどりが一体となり、多くの市民の憩いの場となっています。

まとまりのあるみどりは、地域のシンボルとして維持・保全し、それらを活かした景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／えびね苑／芹ヶ谷公園など

<まち並み>

◇**基盤の整った住宅地**

町田駅の北側には、1930年代から整備された市街地が広がります。現在の旭町や中町などを中心にして、当時の基盤整備をもとに築かれた碁盤の目の道路に、整然としたまち並みがつくられています。

旭町や中町のように基盤の整った住宅地では、整ったまち並みを活かし、まち並みの連続性に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

旭町、中町の整然としたまち並み

◇**大規模な中高層住宅団地**

本町田住宅、森野住宅などでは、集合住宅が建ち並ぶ特徴的な団地の景観をつくっています。団地内には公園や緑地も多く、年月を経て樹木も大きく生育しており、身近なみどりに囲まれた景観が見られます。

大規模な中高層住宅団地では、大きく育った樹木をできる限り残し、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

本町田住宅や森野住宅の敷地内など

◇**農地や樹林が残るみどり豊かな住宅地**

森野や本町田などでは、豊かな樹林が数多く見られ、畑も残るなど、みどりの多い住宅地景観が広がっています。

農地や樹林が残るみどり豊かな住宅地では、みどりの連続性に配慮し、積極的な緑化を行うなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

森野／本町田周辺の住宅地

<河川・水辺>

◇**多くの人が訪れる境川・恩田川沿い**

境川沿いや恩田川沿いには、自転車歩行者専用道路が整備され、ジョギングやウォーキングを楽しむ人が多く見られます。しかし、町田駅周辺の境川の風景は、まちの裏側の印象があり、また、相模原市との境界を流れるため、対岸の景観と調和が図られていない場所もあります。

境川や恩田川では、対岸の景観との調和を図り、河川を活かした快適な景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川／恩田川

◇市街地の中にもみられる湧水

市民病院の周辺などには、湧水によるうるおいのある景観が見られます。

市街地の中にもみられる湧水は、できる限り保全し、それらを活かした景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

市街地の中に点在する湧水（市民病院周辺など）

<沿道>

◇歴史のある街道の景観

町田街道や鶴川街道、鎌倉街道など、交通量の多い主要な道路の沿道では、飲食店や物販店など様々な業種の建築物が立地し、多様な景観が見られます。しかし、過度な色彩の建築物や屋外広告物などによって、沿道の一部では統一感のない景観になっています。

街道沿いでは、車で通る人や歩行者にとっても、魅力のある沿道景観をつくります。また、かつてケヤキ並木のあった鎌倉街道の景観の面影を尊重し、街路樹や沿道の樹木の保全や積極的な緑化によりみどり豊かな沿道景観をつくります。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

町田街道／鶴川街道／鎌倉街道

<にぎわい>

◇「商都」としてにぎわう町田駅周辺

JR町田駅・小田急町田駅を中心に百貨店などの商業施設が集積し、にぎわいのあるまち並みが形成されています。

原町田大通りは、道幅が広く整備された通りで、駅と芹ヶ谷公園をつなぐ通りです。原町田大通りを挟んで両側には、小さな店舗が数多く建ち並び活気のある景観が見られます。

町田駅前通りには、市役所新庁舎の建設が予定されています。新庁舎完成後には、町田駅前通りは庁舎への主要なアプローチとなります。

文学館通りには「市民文学館ことばらんど」があり、芹ヶ谷公園内の国際版画美術館へつながる通りでもあります。

駅周辺では、「フェスタまちだ」など毎年多くのイベントが開催されています。イベントには多くの人を訪れ、普段のにぎわいに加え一層華やいだ雰囲気になります。

しかし、一部には落書きやたばこのポイ捨てなどマナーの低下によって、景観が阻害されているケースが見られます。また、過度な色彩や表現の屋外広告物などが見られ、建築物の高さや形態、色彩などの統一感がない通りが見られます。小田急線町田駅周辺は、広場が少なく、樹木や憩いのスペースが限られています。



町田駅前通り

町田駅周辺では、これまで培われてきた活気のある町田の生活風景を尊重し、昔ながらの老舗店舗などを活かしながら、にぎわいのある景観づくりを行います。

だれもが快適に過ごせるよう、オープンスペースやみどりの創出により、ゆとりやうるおいのある景観づくりを行います。また、周辺の住宅地に配慮した景観づくりを行います。



町田駅から新庁舎予定地へ続く町田駅前通りは、将来は新庁舎への主要な通りとして、みどり豊かで暖かみのあるまち並みづくりを行います。

文学館通りは、文学館や版画美術館を結ぶ通りとして、文化的で人に優しい通りづくりにより、中心市街地の回遊性を高めます。

原町田大通りは、町田駅周辺のシンボルとして、また芹ヶ谷公園へのアプローチとして、活気とふれあいのある通りづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

文学館通り／町田駅前通り／原町田大通りなどのにぎわい／老舗店舗／周辺住宅地など

<歴史・文化>

◇寺社仏閣とみどりが一体となった景観

菅原神社や本町田遺跡のように、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。また養運寺などの寺社仏閣では、周辺のみどりと一体となった景観が見られます。

菅原神社や養運寺、本町田遺跡などの主要な寺社や文化財の周辺では、石畳や桜の木に配慮し、周辺のみどりの環境と一体となった景観づくりを行います。



菅原神社

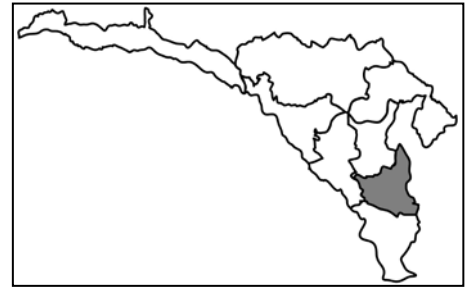
◆配慮すべき景観要素◆

養運寺一帯の樹林地／菅原神社／本町田遺跡

～成瀬地域～

◇町目構成◇

成瀬、高ヶ坂、南成瀬、成瀬が丘、成瀬台



成瀬地域は町田市南東側に位置し、玉川学園地域や原町田地域と隣接する地域です。恩田川やその支流の周辺は平地となっており、高ヶ坂付近は台地、その他は起伏のある丘陵地となっています。成瀬地域は、丘陵地や台地を中心に、面的な開発による起伏のある住宅地のまち並みが広がる景観が見られます。また恩田川沿いには、農地などのみどりがあり、地域の東側の斜面にも樹林が残るみどり豊かな景観が見られます。成瀬駅周辺は、地域の日常生活の中心としてにぎわいを見せています。

①景観づくりのテーマ

1) みどり豊かで落ち着いた住宅地の景観づくり

これまで培われてきたそれぞれのまち並み景観を維持し、水とみどりに恵まれた環境と調和したみどり豊かな住宅地の景観をつくります。また、恩田川の周辺の農地や樹林地、かしの木山自然公園など、地域の貴重な自然資源を活かしながらうるおいのある景観づくりを進めます。

2) 住宅地に配慮した秩序ある駅周辺や街道沿いの景観づくり

成瀬駅周辺や成瀬街道沿いでは、隣接する住宅地の環境に配慮しながら、にぎわいの中にも一定の秩序がある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇高低差のある地形がつくる眺め

成瀬地域は丘陵地が多く起伏がある地形のため、坂道や階段など見晴らしのよい場所が多く、そこからは尾根の連なりがつくるみどりのスカイラインや市街地を眺めることができます。成瀬地域の東側の横浜市との境界付近にある成瀬緑道からは、市内を見晴らす眺望が楽しめます。

尾根の稜線がつくるみどりの連なりや尾根からの市街地の眺めなど、特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しの良い坂道、階段／成瀬緑道などからの眺望

<農やみどり>

◇地域のシンボルとなるまとまりのあるみどり

地域内には、住宅地の近くに芹ヶ谷公園、かしの木山自然公園、うさぎ谷戸公園、松葉公園、松葉谷戸公園、成瀬緑道など、公園や緑地として各所にまとまりのあるみどりが保全されています。それらのみどりは、住宅地にうるおいや落ち着きをもたらしています。またボリュームのあるみどりは、離れた場所からも認識でき、地域のシンボルとなっています。



尾根からの眺望

まとまりのあるみどりは、地域のシンボルとして維持・保全します。まとまりのあるみどりの周辺では、積極的に緑化を行うなど、まとまりのあるみどりと一体となったみどりの景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

芹ヶ谷公園／かしの木山自然公園／うさぎ谷戸公園／松葉公園／松葉谷戸公園／成瀬緑道など

<まち並み>

◇丘陵地に広がる一体的に整備された住宅地

成瀬や成瀬台を中心に、ゆとりのある敷地の閑静な住宅街が広がります。起伏に富んだ地形に沿って建ち並ぶ住宅地のまち並み景観は、変化に富み、開発から時間を経て大きく育った並木道が、成熟した住宅地に風格を与えています。

成瀬や成瀬台、成瀬一丁目では、建築協約や建築協定など独自のまちづくりルールが定められており、良好なまち並み景観が維持されています。しかし一部の住宅地では、傾斜地のため、宅地の造成などに伴って道路に面した高い擁壁も見られます。

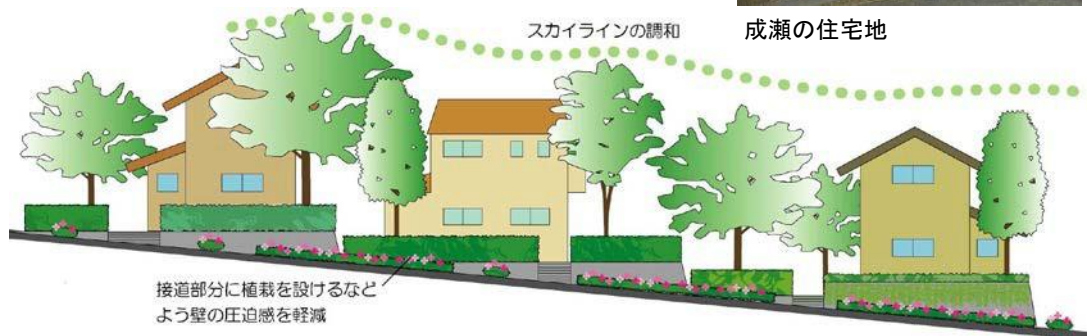
丘陵地に広がる一体的に整備された住宅地では、スカイラインの調和や、元の地形を活かし、周囲への圧迫感の低減などに配慮した連続性のある良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

成瀬、成瀬台の住宅地など



成瀬の住宅地



◇農地や雑木林が残り田園風景が見られる住宅地

高ヶ坂付近や恩田川沿いの住宅地では、住宅地の中に農地や樹林が残り、身近なみどりによってうるおいのあるまち並みが見られます。

高ヶ坂付近や恩田川沿いの周辺に農地や樹林の残る地域では、みどりの連続性に配慮し、積極的な緑化やみどりを行うなど、自然と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

高ヶ坂付近／恩田川沿いの住宅地



雑木林と住宅

<河川・水辺>

◇並木が美しい恩田川沿いの景観

恩田川沿いには桜やハナミズキが植えられ、花の咲く時期には美しい景観が楽しめます。また河川の近くには、丘陵地の斜面が迫り、河川沿いから周辺のみどりや斜面に建つ住宅地を望むこと

もできます。河川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、市民の憩いの空間となっています。

恩田川沿いの並木がつくる景観や、周辺の丘陵地、河川周辺の開放感を活かし、川沿いや水辺の眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

恩田川沿い、高ヶ坂松葉調整池



恩田川と川沿いの桜並木

<沿道>

◇うるおいのある住宅地の並木道

住宅地内を結ぶ主要な通りには、ケヤキや桜などの街路樹が大きく育ち、うるおいのある沿道景観をつくり出しています。起伏に富んだ地形の上に整備された通りは、高低差によって変化に富んだ景観を楽しむことができます。

起伏のある坂道の見晴らしを確保します。また、沿道の街路樹などを保全し、沿道の敷地の緑化によりみどり豊かな景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

起伏に富み街路樹のある並木道

<にぎわい>

◇日常生活の中心である成瀬駅周辺のにぎわい景観

地域の日常生活の中心である成瀬駅周辺には、駅前や通り沿いに商業施設や住宅などの大規模な建築物が立ち並んでおり、にぎわいのある景観が見られます。成瀬街道沿いには、商業施設が点在しています。

成瀬駅周辺では、にぎわいと生活が共存できるまち並みをつくります。成瀬街道の沿道では、通りからの見え方や、隣接する裏側の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

成瀬駅周辺

<歴史・文化>

◇寺社仏閣とみどりが一体となった景観

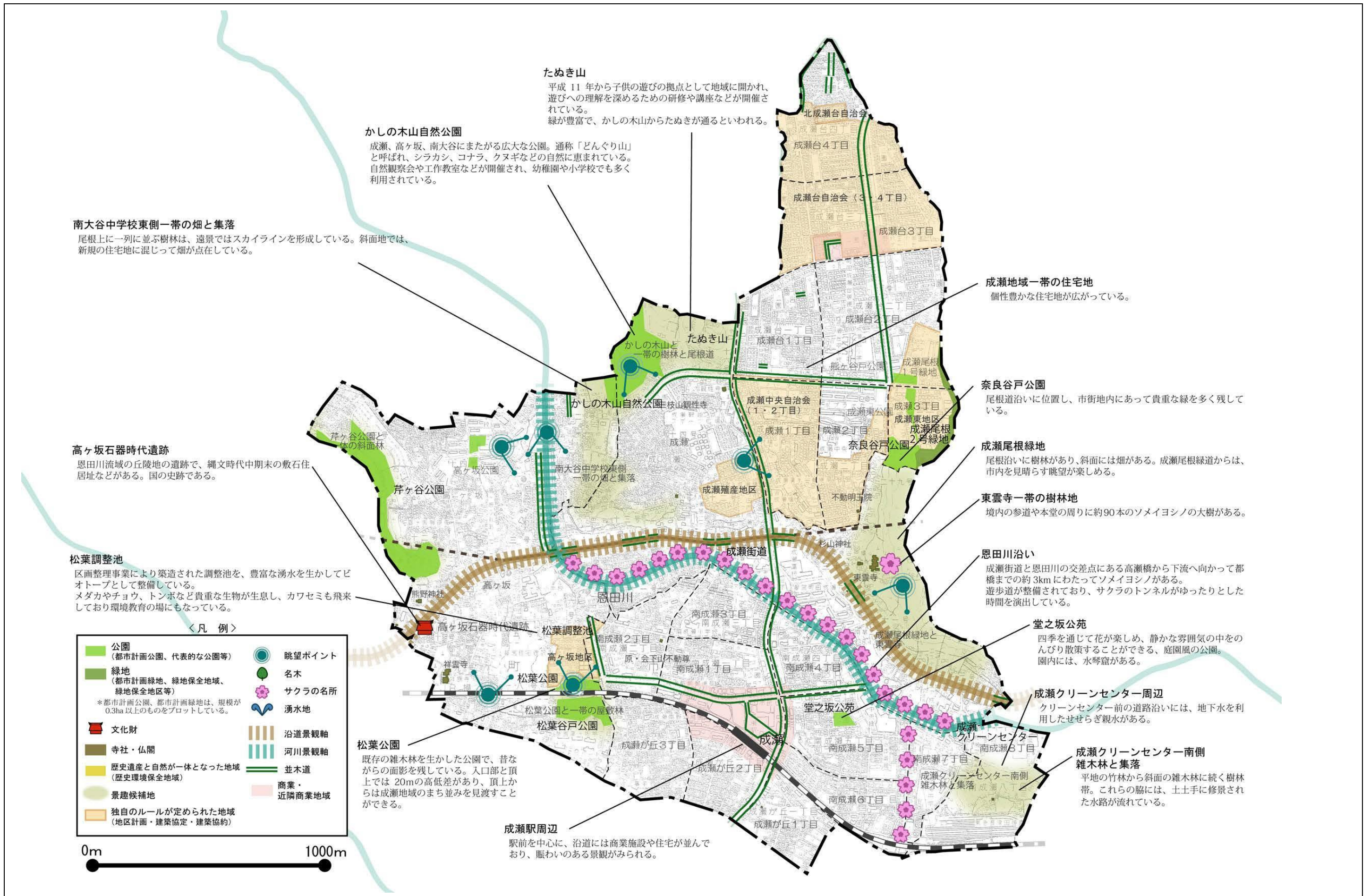
地域内には、東雲寺や祥雲寺など地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。東雲寺には100本近いソメイヨシノが植えられ、花見の名所として市民に親しまれています。

東雲寺など、地域の歴史・文化を物語る景観を保全し、それらの資源と周辺のみどり豊かな環境が一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

東雲寺、熊野神社、高ヶ坂石器時代遺跡

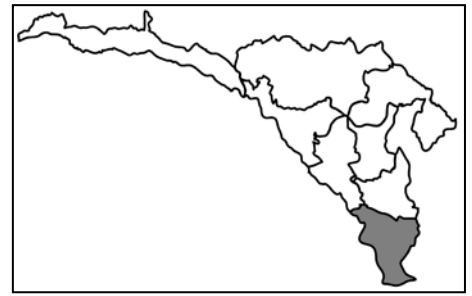
■成瀬地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案などを参考に整理しています。）



～南町田地域～

◇町目構成◇

つくし野、南つくし野、鶴間、小川、
金森（金森一丁目を除く）



南町田地域は町田市南部に位置し、横浜市や大和市、相模原市に隣接する地域です。町田街道を中心に平坦な台地が広がり、境川周辺に沿って低地が続き、一部に農地が残ります。町田街道の東側は、起伏の豊かな丘陵地になっています。

東急田園都市線の開通に伴い、町田街道の東側では面的な住宅地が形成されています。また南側には、国道246号線や国道16号線、東名高速道路の横浜町田インターチェンジなどがあり、交通の結節点であると同時に、工業施設や商業施設、倉庫などが立地するまち並みが見られます。しかし近年では、集合住宅などが建設され、工業施設などと混在したまち並みが形成されています。

①景観づくりのテーマ

1)自然や住宅地の多様な特性に応じたまち並みづくり

つくし野など面的に整備された良好な住宅地のまち並みや、境川沿いの住宅地では、水とみどり豊かな自然環境に調和した魅力的な住宅地のまち並みづくりを進めます。

2)市南部の玄関口にふさわしい景観づくり

南町田駅周辺には、主要な幹線道路が存在し、ほかの地域からも多くの人が集まる商業施設が立地する特性をふまえ、産業や物流などの機能を維持しながら、境川や鶴間公園など自然的な要素を活かし、市民の交流の拠点となる市南部の玄関口にふさわしい景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇高低差のある地形がつくる眺め

起伏の豊かな町田街道の東側の丘陵地では、谷間を挟んで住宅地が向かい合う様子や高低差のある地形を貫く並木道など、複雑な地形による変化に富んだ景観が見られます。

谷間を挟んで住宅地が向かい合う様子や高低差のある地形を貫く並木道など、丘陵地の特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人々が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しの良い坂道・階段／境川沿いなどからの眺望



つくし野パークロード

<農やみどり>

◇地域のシンボルとなるまとまりのあるみどり

金森山市民の森や金森天神山市民の森、みずき山市民の森など、各所に「市民の森」として親しまれている小さな森が残されており、周辺のまち並みに落ち着きやうるおいをもたらしています。鶴間公園、つくし野セントラルパークは、地域のシンボルとなる公園として市民に親しまれています。大きく育った樹林と芝生などで構成され、心地よい空間です。

まとまりのあるみどりは、地域のシンボルとして維持・保全します。まとまりのあるみどりの周辺では、積極的に生垣や敷地内の緑化を行うなど、樹種などにも配慮しながらまとまりのあるみどりと一体となったみどりの景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

金森山市民の森／金森天神山市民の森／みずき山市民の森／
鶴間公園／つくし野セントラルパークなど



鶴間公園

<まち並み>

◇成熟した閑静な住宅地

東急田園都市線つくし野駅やすずかけ台駅の西側には、ゆとりのある敷地の閑静な住宅街が広がります。起伏に富んだ地形に沿って建ち並ぶ住宅地では、高低差によって変化のある景観が見られます。開発から時間を経て大きく育った並木が、この地域の住宅地の大きな財産となっています。建築協約など、独自のまちづくりのルールが定められている地域が多く、良好なまち並み景観が維持されています。一部の住宅地では、傾斜地のため宅地の造成などに伴って道路に面して高い擁壁がつくられている所も見られます。

つくし野や南つくし野などの面的に一体となって開発された住宅地では、地域のルールを守るとともに、元の地形を活かし周辺と調和した良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

つくし野、南つくし野の住宅地など

◇つくし野駅やすずかけ台駅周辺の生活感のある景観

つくし野駅やすずかけ台駅周辺では、住宅地の整備とあわせて、日常生活に対応した商業施設などが建ち並んでいます。それらは、周辺の住宅地と調和し生活感のある雰囲気をつくり出しています。

つくし野駅やすずかけ台駅の周辺では、うるおいのある住宅地に十分配慮し、住宅地の景観と調和し、商業と生活が共存するまち並みをつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

つくし野駅、すずかけ台駅周辺

◇農地や樹林が残り田園風景が見られる住宅地

杉山神社から金森天神山市民の森にかけての境川周辺は、住宅地の中に多くの農地や樹林が残り、田園風景が見られます。

周辺に農地や樹林の残る地域では、みどりの連続性に配慮し、積極的な緑化やみどりが映えるような色彩を用いるなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川周辺の住宅地

◇工業施設などの多いまち並み

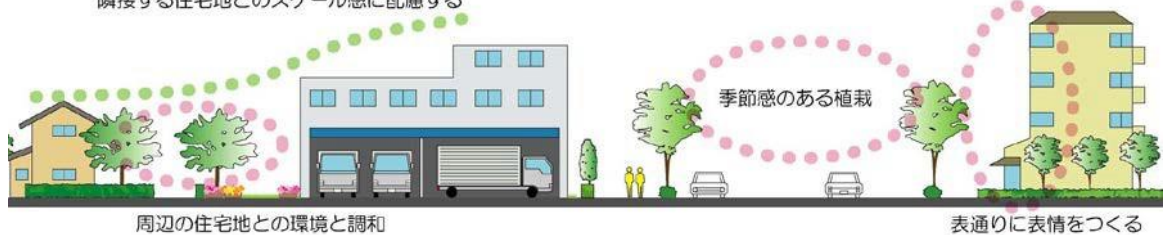
町田街道周辺及び国道16号線の北側の鶴間地域には、物流施設や工業系の施設が多く立地しています。近年は集合住宅などが建設され、工業施設などと混在したまち並みが形成されています。

工場や倉庫、事業所や商業施設など、多様な施設が立地する鶴間地域では、周辺の住宅地の環境に配慮し、敷地内の緑化や隣り合う建築物などに対して違和感、圧迫感のないよう配慮し、住宅地と工業施設などが快適に共存できるまち並みをつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴間地域の住宅地など

隣接する住宅地とのスケール感に配慮する



<河川・水辺>

◇開放感のある境川沿いの景観

境川沿いでは、川の流れに沿って開放感のある景観が広がります。河川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れを楽しみながらジョギングやウォーキングを楽しむ人も多く、市民の憩いの空間となっています。河川沿いには、市民の活動によって、河川の景観を楽しめる魅力的な空間が創出されています。

開放感のある河川景観を維持し、河川沿いに景観を楽しめる空間を積極的に創出するなど、河川と一体となった景観づくりを行います。



境川沿い

◆配慮すべき景観要素◆

境川周辺

<沿道>

◇主要な幹線道路が存在する市南部の玄関口

地域南部には、東名高速道路横浜町田インターチェンジがあり、国道246号線、国道16号線が交わる交通の結節点となっています。また、地域の中央には町田街道があり、沿道には商業施設などが建ち並ぶ多様な景観が見られます。

主要な通りでは、通りの連続性に配慮し、歩行者に配慮した沿道景観をつくります。また沿道の景観と、隣接する住宅地の景観との調和に配慮します。

◆配慮すべき景観要素◆

町田街道／国道246号線／国道16号線沿道

<にぎわい>

◇南町田駅周辺のにぎわい景観

南町田駅周辺には、複数の大型商業施設が立地しています。市の内外を問わず広い地域から利用客が訪れ、にぎわいを見せています。商業施設の周辺は、住宅地として整備が進みつつあります。

来街者が、歩きながら駅周辺の商業施設や公園の景観を楽しむことができるように、回遊性と連続性のある空間をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

南町田駅周辺

<歴史・文化>

◇寺社と一体となった周辺のみどり

熊野神社、杉山神社、円成寺など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。それらの寺社と、周辺のみどりが一体となった景観が見られます。また、明治時代に相模川から横浜へ水を引くためにつくられた水道が元になっている、横浜水道道路があります。

地域の歴史・文化を物語る景観を保全し、それらの資源と周辺のみどり豊かな環境が一体となった景観づくりを行います。また横浜水道道路の周辺では、一直線に続く遊歩道の景観の特徴に配慮し、遊歩道に面して花壇を設けるなど、遊歩道と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

熊野神社／杉山神社／円成寺／横浜水道道路など

